

China



リアルな中国社会に触れ、たった3週間で私が変わった。

中国への留学は、メディアなどで伝えられている「反日イメージ」などから、当初不安に思うこともありました。しかし、3週間の北京への海外実習で、こうした私の考えは大きく変わりました。日本人に対する嫌悪感は一切感じられず、むしろ一度知り合いになると親切にしてくれる中国人の方が多くに気づきました。また、現地の学生と一緒に生活する中で、彼らの貪欲な学習意欲は大きな刺激になりました。日本の文化や政

治・経済について質問攻めに合うこともありました。そのような環境に身を置いていたことが功を奏してか、帰国後、語学力が飛躍的に伸びていたことに驚きました。特にリスニング力や発音が向上しており、中国語検定3級にも合格しました。たった3週間でしたが、この経験が後押しとなり、2年次の夏から1年間長期留学することを決心。中国語を集中して学べる環境でさらに語学力を磨きたいと思います。

アジア言語学科 中国語専攻2年 中石 大翔さん

中国/中国伝蔵大学(中国語海外実習)1年次留学

外国語を学ぶ、世界で学ぶ。

司法通訳人を育成

司法外国語プログラム
実践的な中国語・韓国語+法学を学ぶ

Indonesia

国際化にともなって、外国人が犯罪の被疑者や被害者になるケースが増えており、司法通訳人のニーズが高まっています。京都産業大学では一拠点総合大学のメリットを活かし、中国語と韓国語とともに刑事司法が学べるプログラムを提供しています。入国管理局や刑務所などでも役立つ、通訳・翻訳の実践的なスキルを修得できます。

◎科目紹介

刑事司法と外国人

警察官や弁護士など、第一線で活躍される方を教員に招き、捜査や裁判の現場などリアルな話を聞き、刑事司法に関する知識を身に付けます。

捜査通訳演習

学生が通訳者となり、警察による取り調べの通訳をロールプレイングで実際に体験し、現場での通訳業務に対応できる語学力を身に付けます。

法廷通訳・翻訳演習

外国人のオーバーステイなどを想定し、模擬法廷教室で裁判を体験しながら実践的な通訳・翻訳を練習します。



刑事司法と外国人



法廷通訳・翻訳演習

日本語教員を育成

日本語教員養成コース

日本語教育学を専門的に学ぶカリキュラムを編成。国内だけでなく海外でも通用する日本語教員になるための知識と実践力を磨きます。

全員が在学中に海外実習を経験



1年次の早期から
約3週間の「海外実習」を実施




1年次終了前の春休みには、学科・専攻独自のプログラムで約3週間の「海外実習」を体験。真の国際性とは何かを体験します。この「海外実習」をステップに、長期留学へと挑戦する学生も多いです。







■海外実習先一覧(2015年度対象校)

英語学科海外実習

 スウィンバーン工科大学 (オーストラリア)  カンタベリー・クライストチャーチ大学 (イギリス)

 タンパ大学 (アメリカ)  コンコーディア大学 (アメリカ)  アメリカのアウトドアレクリエーションとツーリズム

 カンタベリー・クライストチャーチ大学 (イギリス)  英国の歴史、文化、文学


 ホアセン大学 (ベトナム)  観光とホスピタリティ

ヨーロッパ言語学科海外実習


 フライブルク大学 / ライプツヒ大学 (ドイツ)  リヨンカトリック大学 / アンジェ西部カトリック大学 (フランス)  シェナ外国人人大学 (イタリア)

 ラ・リオハ大学 (スペイン)  国立プーシキン記念ロシア語大学 (ロシア)

アジア言語学科海外実習

 中国伝蔵大学 / 北京科技大学 (中国)

 釜山大学校 (韓国)

 サナタ・ダルマ大学 (インドネシア)

世界に広がるネットワーク、交流協定校
27ヵ国 75大学・1研究所

(2016年5月現在)



生きた言語を学び、自分でも驚くほど語学力がアップ。

留学の目標は、言語をとにかく使うこと。私は3年次にインドネシアへ1年間留学をしました。現地では、生活の中で「生きたフレーズ」を学ぶことができ、教科書では分からない、実用的な表現を多く知ることができました。また、インドネシア人は社交的で大らか。日本語を勉強する学生も多く、すぐに友達になってお互いの言語を教え合うこともありました。こうした刺激的な留学半年を過ぎたころから自分でも驚くほどインドネシア語の単語やフレーズが出てきて、語学力の向上を日々感じました。インドネシアの生活の中心には宗教があり、朝は礼拝の呼び掛けの音ではじまり、何をしてもお祈りの時間が第一優先です。日本ではなかなか経験できないイスラム教への信仰が深い異文化社会で暮らしたことでさまざまな考えや価値観を学べたことも留学の大きな成果でした。帰国後もインドネシアの友達と連絡をとっており、インドネシアが恋しくなっています。次の目標は「日本語パートナーズ」*。日本語を学びたいインドネシアの人々を精一杯サポートしたいです。

言語学科 インドネシア語専修 (現 アジア言語学科 インドネシア語専攻) 4年 玉野 瑞季さん

インドネシア/バジャラン大学(認定留学)3年次留学

*日本語パートナーズ…独立行政法人国際交流基金が実施するプログラム。ASEAN諸国の中学・高校などの日本語教員や生徒のパートナーとして、現地で授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うものです。



Indonesia

キャリアに活かす「語学+専門力」